

平成 30 年度 第 1 回 大阪府立東住吉総合高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：平成 30 年 7 月 11 日（水）14：30～16：00

場所：大阪府立東住吉総合高等学校 TRY ルーム

1. 開会

2. 学校長挨拶

3. 委員紹介

4. 事務局紹介

5. 協議

- (1) 保護者からの意見書提出状況について：特になし
- (2) 実施要項について：教頭から説明
- (3) 学校の現状：各分掌長等から簡単に説明
- (4) 「平成 30 年度学校経営計画」等について学校長からの説明

○総合学科の生徒の満足度の高さ（特に工業・商業等の系列に特色を持つ学校）

○めざすべき人材像

- ・「価値観の異なる多様な他者と協力しながら、課題を発見し解決していける人材」

○大切にしたいもの

- ・「自己と他者を認め合い、お互いに協力し合える雰囲気」

○今後、生徒に身につけさせたい力

- ・「課題発見・課題解決能力」＝「情報の入力・処理・出力能力」＋「他者共有力」
 - ※「情報の入力・処理・出力能力」：読む、聞く、まとめる、書く、話す
 - ※「他者共有力」：価値観の異なる多様な他者とも協力して物事を進めることのできる力

○「平成 30 年度学校経営計画」

- 1. 確かな学力の育成
- 2. 社会とつながる力（社会人基礎力）の育成
- 3. 地域連携と広報活動の充実
- 4. 生徒を支える校内体制の充実について
簡単に説明し実績を報告

- ・就職一次内定率 85.2% (H29) : 5年間で 15.6 ポイント上昇
- ・資格取得実績 : 6年連続 200 件越え
- ・4年生大学合格者数 43 名 (H29) : 5年間で 2 倍強に上昇
- ・年間遅刻者数 2450 名 (H29) : 5年間で 1/5 に減少
- ・中退率 0.7% (H29) : 5年間で 5.8 ポイント減
- ・部活動加入率 47.0% (H29) : ここ 3 年間 40% 台後半

○本校の課題

- ・進学希望生徒への対策
- ・「魅力ある授業づくり」を引き続きめざし、課題研究も視野に
- ・生徒主体の生徒会活動（さらに生徒を前面に）及び部活動の活性化
- ・自己と他者を認め合えるような人権啓発への取り組みを引き続き進化

☆委員からの意見

- ・企業でもまさに「他者との共有」というキーワードは大切。他者を認めることでコミュニケーション能力もあがる。
- ・自分のところの会社でも人前で話を繰り返しさせることで、プレゼンテーション力があがった。
- ・自分の口で相手に伝える力が大切。
- ・「確かな学力」保障のためには、好きな科目だけではなく、興味のわからない授業でも、しっかり聞くことが大切。ICT の活用も有効。
- ・ドロップアウトしている子供たちを支援する子供食堂もあるので外部資源との連携は大切。
- ・進学希望者が多くなってきたとのことだが、工業系は今までの企業とのつながりで就職に強い学校だと思う。実業系の総合学科として、今後どのように就職と進学のバランスをとり学校の方向性を決めていくのか気になる。
- ・先般の地震時の緊急連絡体制やブロック塀の管理など危機管理面についても今後とも充実されたい。

6. その他

第 2 回、第 3 回の協議会開催日日程について